

研究課題名	転移性尿路上皮癌を対象とした臨床転帰に関する多施設共同後方視的研究
研究実施機関名 および研究責任者	さいたま赤十字病院 泌尿器科 部長 小林 秀一郎
研究代表施設 および代表研究者	東京医科歯科大学大学院腎泌尿器外科学 教授 藤井 靖久
研究期間	研究許可日～2027年3月31日
研究の目的と意義	従来、転移性尿路上皮がんについてはプラチナ製剤を基本とした多剤併用の抗がん剤治療が使用されてきました。近年、従来の化学療法に対して治療抵抗性を示す尿路上皮がんに対して使用可能な新規薬剤が登場しました。新規薬剤の治療効果についての根拠は国際的な大規模研究により示されております。しかしながら、これらのデータが得られた際の診療状況と本邦における診療状況とは、大きく異なっている可能性があります。そのため、本研究では、多施設観察研究として転移性尿路上皮がんの方の治療内容及び経過について評価をさせていただくことといたしました。本研究により、転移性尿路上皮がんに対する治療の本邦における現状が明らかになることが期待されます。 本研究では、転移のある尿路上皮がんに対し行われている診療内容について確認、評価を行います。
本研究の対象となる方	2010年1月1日から2026年12月31日までにさいたま赤十字病院泌尿器科において、転移性尿路上皮がんと診断された患者さんに、ご協力をお願いしています。
提供していただく情報	年齢、性別、既往歴、治療内容、病理学的結果、受診日、転帰、検査情報、画像情報等を集計します。これらは全て通常診療として施行されたものであり、本研究のために追加の検査は施行しません。
研究内容	介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究
個人情報の取り扱い	本研究で得た情報は、当院の研究責任者の管理のもと東京医科歯科大学大学院腎泌尿器外科学で保管します。論文で用いるデータについては10年間保管します。本研究で得た資料は、今後、関連する研究に使用する可能性があります。その場合、改めて研究計画の開示などを行い、お知らせします
問い合わせ先 (拒否等の受付窓口)	【研究担当者】 所属:さいたま赤十字病院 泌尿器科 部長 氏名:小林 秀一郎 住所:埼玉県さいたま市中央区新都心1番地5 電話:048-852-1111

【研究実施機関】

研究者連絡先：東京医科歯科大学大学院腎泌尿器外科学

教授 藤井 靖久

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803-5290 (ダイヤル) (平日 8:30-17:30)